

事務事業名	10000 民生児童委員活動費	予算科目	会計 一般	款	3	項	1	目	1	所管課	社会福祉課	担当班	社会班
施策体系	基本施策 8 地域福祉の充実 施策の展開 17 地域福祉の推進	根拠法令	民生委員法	戦略事業	96	民生児童委員活動費				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	● 民生委員・児童委員とは、地域を見守り、地域住民の身近な相談相手として、専門機関へのつなぎ役となる、地域住民の立場に立てて地域の福祉を担う、厚生労働大臣から委嘱を受けたボランティア。誰もが安心して生活できる地域づくりのための活動を行う。任期は3年で3年毎に民生委員・児童委員推薦委員会で推薦をした後に委嘱を行う。 ● 各地区の民生委員連絡協議会における研修等の活動費として民生委員連絡協議会運営協議会を通じて補助金を交付する。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
大正6年に岡山県で公布された済世顧問設置規定に端を発し、後に方面委員制度の発足、救護法の施行と続き、昭和21年に方面委員が民生委員と改称された。現在は市内に123人の民生委員・児童委員と18名の主任児童委員が活動している。	地域コミュニティが衰退しており、地域内の社会的弱者の把握が困難になっている。また、責任の重い役職であることから敬遠され、後継者の選任が難しい。	特に把握していない。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (30年度の決算) 単位:千円	
1. 民生委員連絡協議会運営補助金	3,393 25,000円×9人 + 24,000円×132人
2. 報酬	0
3. 賞賜金	0
4. 食料費	0
5. その他	0
② 特定財源の内訳 (30年度の決算) 単位:千円	
1. 国庫支出金	0
2. 都道府県支出金	528 民生委員協議会交付金 (3,750円×141人)
3. 地方債	0
4. その他	0

事業費	費目内訳	単位	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
	1. 民生委員連絡協議会運営補助金	千円	3,417	3,417	3,393	3,393	3,417
財源	事業費計 (A)	千円	3,417	3,576	3,522	3,393	3,836
	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円	426	436	518	528	542
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	2,991	3,140	3,004	2,865	3,294

前年度増減理由	前年度は民生委員推薦会の開催あり
---------	------------------

従事職員数 常時 4人 最大 5人 × 1日 = 延べ 5人

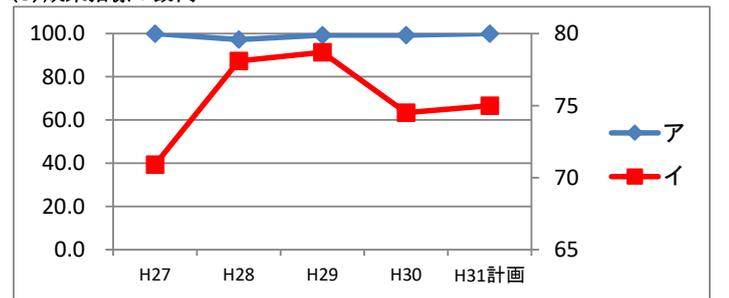
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	30年度実績 (30年度に行った主な活動) 民生委員連絡協議会運営補助金交付 民生委員連絡協議会の運営 【民生委員の活動】 訪問、相談・支援、連絡調整活動	ア 民生委員連絡調整会議開催回数	回	7	8	8	8	8
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
	対象意図 市民 地域の中で見守られて安心して生活できる	ア 民生委員・児童委員の定員充足率	%	100.0	97.2	99.3	99.3	100.0
	対象意図	イ 民生委員・児童委員一人当たり延べ活動件数	件	71	78	79	75	75

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
大きい		①	
普通		②	
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	(7)
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
	② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ <input checked="" type="checkbox"/> 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 比較 26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 ア 0.0 Δ2.8 2.1 0.0 0.7 イ Δ8 7 1 Δ4 1
	③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 31.4～元.12 内容 民生委員の一斉改選 民生委員推薦会の開催 今後の方向性 31.4～元.12 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 () 地区へ推薦依頼(4月) → 推薦会(7月) → 県へ推薦(8月) → 一斉改選(12月)